



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月5日

上場会社名 株式会社あらた 上場取引所 東
 コード番号 2733 URL http://www.arata-gr.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 畑中 伸介
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 副社長執行役員 (氏名) 鈴木 洋一 TEL 03-5635-2800
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	152,932	△5.1	180	△80.2	177	△80.8	0	△100.0
26年3月期第1四半期	161,231	3.0	912	5.0	922	14.3	469	16.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 201百万円 (△55.8%) 26年3月期第1四半期 455百万円 (77.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	0.00	—
26年3月期第1四半期	6.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	206,296	51,334	24.9	665.74
26年3月期	221,202	51,041	23.1	661.84

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 51,316百万円 26年3月期 51,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	308,000	△4.2	1,400	△16.9	1,300	△22.1	550	△33.0	7.14
通期	640,000	△1.8	3,500	△21.7	3,300	△24.8	1,400	△42.5	18.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	79,301,124株	26年3月期	79,301,124株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,218,656株	26年3月期	2,218,156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	77,082,616株	26年3月期1Q	77,090,694株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、現況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策により、企業業績の改善や雇用情勢の持ち直しが見られるものの、消費税増税にともなう駆け込み需要の反動が一部で見られるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは国内および海外事業において引き続き積極的な営業活動を推進するとともに、物流、間接機能の集約と生産性向上に向けた構造改革を推進してまいりました。

国内事業における営業戦略として、小売業様の売場におけるインスタシアの拡大を目指し、マス広告と店頭販売の効果的な連動による店頭活性化提案を推進し、また成長拡大が続いているシニア市場へ向けた商品拡充、ネット販売へ商品提案や物流体制の整備をおこなうとともに、あらたグループの販売力、ネットワークを活かした商品開発の強化として、平成26年4月に営業本部内に商品開発部を新設し、商品力のあるナショナルブランドに匹敵する商品を開発することにより、アドグッドをあらたブランドとして成長させてまいりました。

海外事業においては、あらたグループ各社と連動し、卸事業にこだわらず現地が必要とされる事業形態を検討してまいりました。

生産性の向上では、人件費および物流関連経費の削減を図るとともに、物流体制の整備として平成27年3月稼働に向けて、東北地区に北上センターの新設準備を進めてまいりました。また、間接業務においては事務センターと仕入センターを一箇所に集約するための業務軽装備化の推進を図ってまいりました。

以上のような営業活動と生産性向上を目指すとともに将来に向けた設備投資を行うことにより、業務体制を整備し、収益性、安定性の強化に努めてまいりましたが、消費税増税による駆け込み需要の反動による売上低迷、それにともない売上総利益が大幅に減少し、加えて株式会社白元の民事再生による貸倒引当金繰入の増加により営業利益、経常利益および四半期純利益が減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は152,932百万円（前年同期5.1%減）、営業利益は180百万円（前年同期80.2%減）、経常利益は177百万円（前年同期80.8%減）、四半期純利益は0百万円（前年同期100.0%減）となりました。

なお、消費税増税による売上高の増減を平準化し、および一過性である株式会社白元の民事再生による影響を除いた平成26年1月から平成26年6月までの経営状況は売上高、営業利益、経常利益とも前期を上回る数値で推移し収益性は向上しております。

引き続き平成26年5月13日に発表いたしました中期経営計画（平成27年3月期から平成29年3月期）に基づき事業戦略を推進し企業価値向上に向けて活動してまいります。

カテゴリ別売上実績

当第1四半期連結累計期間におけるカテゴリ別売上実績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

カテゴリ	主要商品	当第1四半期連結累計期間	
		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	前年同期比
Health & Beauty	化粧品・装粧品・石鹸・入浴剤・オーラルケア	43,063	94.7%
トイレタリー	衣料用洗剤・台所用洗剤・食器用洗剤・住居用洗剤・芳香剤・防虫剤・殺虫剤・乾電池・記録メディア・照明用品・電気応用品・OA用品・文具・食品・カー用品	43,813	93.9
紙製品	家庭紙・紙おむつ・ベビー用品・衛生用品・生理用品	29,574	93.2
家庭用品	台所用雑貨・住居用雑貨・生活用雑貨・レジャー用品・園芸用品	10,691	98.2
ペット用品・その他	ペット用品・その他	25,789	97.4
	合計	152,932	94.9

業態別売上実績

当第1四半期連結累計期間における業態別売上実績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

業態	当第1四半期連結累計期間	
	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	前年同期比
		%
ドラッグストア	70,129	97.3
ホームセンター	27,756	89.6
SM	15,869	93.0
GMS	11,691	96.1
CVS	2,437	103.0
その他	25,048	94.3
合計	152,932	94.9

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は206,296百万円となり、前連結会計年度末と比較して14,905百万円減少となりました。

資産の部では、流動資産は142,146百万円となり、前連結会計年度末と比較して15,868百万円減少となりました。

これは主に受取手形及び売掛金が11,049百万円、商品及び製品が1,994百万円減少したことによるものであります。

固定資産は64,149百万円となり、前連結会計年度末と比較して963百万円増加となりました。

これは主にその他に含まれている建設仮勘定が1,721百万円、貸倒引当金が472百万円増加し、繰延税金資産が397百万円減少したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は109,272百万円となり、前連結会計年度末と比較して13,637百万円減少となりました。

これは主に支払手形及び買掛金が6,314百万円、短期借入金が7,354百万円減少したことによるものであります。

固定負債は45,689百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,560百万円減少となりました。

これは主に社債が2,000百万円増加し、長期借入金が2,104百万円、退職給付に係る負債1,285百万円が減少したことによるものであります。

純資産の部は51,334百万円となり、前連結会計年度末と比較して292百万円増加となり、自己資本比率は24.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては平成26年8月5日公表の「平成27年3月期第2四半期（累計）業績予想と通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更にとまなう影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が1,341百万円および繰延税金資産が478百万円それぞれ減少し、利益剰余金が863百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ10百万円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,965	14,227
受取手形及び売掛金	89,542	78,493
商品及び製品	30,981	28,987
繰延税金資産	790	843
その他	25,790	19,765
貸倒引当金	△53	△169
流動資産合計	158,015	142,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,828	19,551
土地	19,853	19,853
その他(純額)	9,090	10,515
有形固定資産合計	48,772	49,920
無形固定資産		
のれん	1,093	985
その他	3,196	3,204
無形固定資産合計	4,289	4,190
投資その他の資産		
投資有価証券	6,631	6,950
繰延税金資産	541	143
その他	3,031	3,497
貸倒引当金	△79	△551
投資その他の資産合計	10,124	10,039
固定資産合計	63,186	64,149
資産合計	221,202	206,296

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,039	62,724
短期借入金	36,155	28,800
未払法人税等	735	438
賞与引当金	1,408	849
その他	15,572	16,459
流動負債合計	122,910	109,272
固定負債		
社債	1,500	3,500
長期借入金	33,217	31,112
退職給付に係る負債	6,589	5,304
その他	5,943	5,772
固定負債合計	47,250	45,689
負債合計	170,161	154,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	23,083	23,083
利益剰余金	22,524	22,617
自己株式	△713	△714
株主資本合計	49,894	49,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,132	1,337
為替換算調整勘定	31	23
退職給付に係る調整累計額	△41	△30
その他の包括利益累計額合計	1,122	1,330
少数株主持分	24	17
純資産合計	51,041	51,334
負債純資産合計	221,202	206,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	161,231	152,932
売上原価	144,933	137,077
売上総利益	16,297	15,854
販売費及び一般管理費	15,385	15,673
営業利益	912	180
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	42	47
業務受託手数料	68	67
その他	163	138
営業外収益合計	276	255
営業外費用		
支払利息	175	174
その他	90	84
営業外費用合計	265	259
経常利益	922	177
特別利益		
固定資産売却益	72	0
特別利益合計	72	0
特別損失		
固定資産売却損	28	—
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	29	0
税金等調整前四半期純利益	965	177
法人税、住民税及び事業税	263	397
法人税等調整額	230	△214
法人税等合計	494	183
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	470	△5
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△5
四半期純利益	469	0

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	470	△5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	204
為替換算調整勘定	7	△7
退職給付に係る調整額	—	9
その他の包括利益合計	△15	206
四半期包括利益	455	201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	454	206
少数株主に係る四半期包括利益	1	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、日用雑貨・化粧品等の卸売業を主たる事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。